

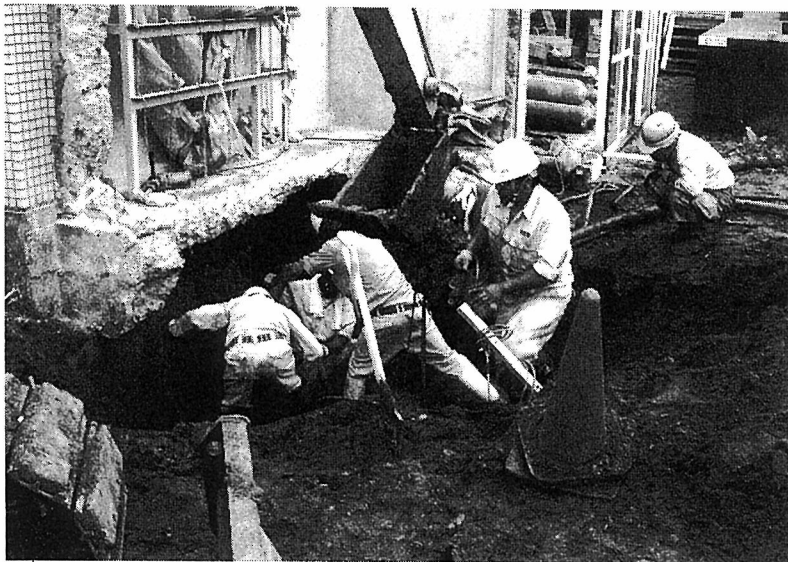


水道産業新聞社
 大 阪：〒530-0027 大阪市北区堂山町1-5 電話(06)6312-3871 FAX番号(06)6312-3874
 東 京：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-10 電話(03)5251-0303 FAX番号(03)5251-3802
 名古屋：〒451-0045 名古屋市中区西区名駅2-4-3 電話(052)551-3532

新潟県中越 新潟県で58,870戸断水

柏崎市は全域で被害

マンホールの隆起、沈下も



柏崎市ガス水道局赤坂山浄水場構内の逆洗管の500mmの修繕工事(写真提供=新潟市水道局)

16日、新潟県中越沖を震源とする地震が発生した。新潟県と長野県で震度6強を観測。この地震による総断水戸数は新潟県で5万8870戸、長野県で85戸が確認された。下水道の被害は処理場の一部が破損したが水処理に支障は出ていない。長岡市でマンホール隆起、上越市でマンホール沈下が確認された。工業用水道の被害は報告されていない。地震直後から厚労省、国交省では上下水道施設の被害状況の情報収集に努めており、日水協、下水協ではそれぞれ対策本部を設置した。

水道施設の被害状況は18日11時現在、新潟県で4万3752戸が断水(復旧済み1万5千118戸)、長野県で85戸が断水(全て復旧済み)。新潟県の被害状況は柏崎市の全域で断水(3万9131戸)、3ルートある導水管のうちタムからの導水管に被害が出た。他の2ル

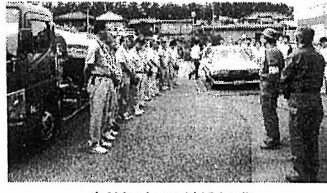
1トは調査中。長岡市で送水管、配水管の漏水により3281戸断水(うち3058戸復旧済み)、刈羽村は導水施設の一部被害が出て断水(1400戸)、出雲崎町では被災により11

被災地の応援続く

新潟県中越沖地震の被災地では、日本水道協会中部地方支部、新潟県支部の水道事業体による応急給水支援が行われている。中部地方支部支部長都市の名古屋市上下水道局は16日11時、支援対策本部を設置し14時



名古屋市の第一次応援隊



新潟市の出陣式

先に遣隊として職員2名を派遣。17時に第一次応援隊として職員8名を派遣した。応援隊は給水タンク車2台、ポリタンク50、1200個、2栓式仮設給水栓2基、災害用備蓄飲料水(名水)20ケース(375ml480本)により、応急給水活動を実施。新潟市水道局も16日15時に応急給水隊を派遣。内訳は調査班(4名)、応急給水班12名、給水車3台、タンク車3台。東京都水道



柏崎市内の圧送管破損箇所(写真提供=国土技術政策総合研究所)

00戸断水(うち1002戸復旧済み)、上越市で送水管破損による断水13889戸(うち1万989戸復旧済み)、十日町市は配水管漏水による断水56戸(全て復旧済み)、佐渡市は水道管破裂による断水13戸(全て復旧済み)。長野県では長野市で断水被害なし、飯山市で配水管破裂による断水35戸、飯綱町で送水管破裂による断水50戸が報告されている。全域で断水した柏崎市は16日、日水協を通じて給水にあたった。(関連3面)

車50台の応援を要請。これに対して県内他都市、他県の各都市から給水車55台(県内35台、他県20台)が派遣された。日本水道協会は16日10時40分に地震対策本部を設置。13時半から全部長が出席して第一回目の会議を開き対応を協議。その後、情報収集に努め16時から第二回目の会議を開いた。日本水道協会は11時30分に地震対策本部を設置。総務課と技術第二課を中心に対応